

保護者等からの事業所評価の集計結果(公表)

事業所名 児童デイサービスあさひみさくら

保護者数(児童数)34 回収数33 割合97%

チェック項目		はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応
環境・ 体制整備	① 子どもの活動等のスペースが十分に確保されているか	25	2	0	6	・実際に見ないとわからない。	・定員に見合ったスペースかと思えます。また安全に過ごせるよう配慮しております。
	② 職員の配置数や専門性は適切であるか	20	4	0	9	・実際のシフトを見ないとわからない。・専門性の判断のよりどころが難しいですね。。	・児童発達支援管理責任者、保育士、児童指導員等基準の人数を配置しております。
	③ 障害の特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化が適切になされているか	13	3	0	16	・見たことないからわかりません。・利用中部屋の様子を見ていない為、わかりません。・広い作りになっていると思います。・バリアフリーの対象施設でないので記入できない。・入口に関して言えば少々。。?	・施設の構造上、バリアフリーには対応しておりません。
適切な 支援の 提供	④ 子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、個別支援計画が作成されているか	32	1	0	0	・分析されているかわからない。	・保護者様とモニタリングした上、職員間で話し合い作成しております。
	⑤ 活動プログラムが固定化されないよう工夫されているか	32	1	0	0	・毎月子どもたちが楽しめるイベントを行って来ています。	
	⑥ 放課後児童クラブや児童館等との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか	6	4	5	18	・必要ないと思います。 ・むしろ不要である。	
保護者 への 説明 等	⑦ 利用者負担等の説明や支援内容と、これに基づき作成された「個別支援計画」を示しながら、支援内容の説明がなされたか	30	2	1	0		・契約時にお話しさせていただいております。
	⑧ 日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解ができているか	28	5	0	0		・送迎時や連絡帳にてやり取りさせていただいております。
	⑨ 定期的に、保護者に対して面談や、育児に関する助言等の支援が行われているか	24	5	2	2	・悪い所も言ってもらえると私的にはありがたいです。 ・仕事があるのでこのままでよい。 ・助言?	
	⑩ 父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により保護者同士の連携が支援されているか	8	5	10	10	・行った事ないからわかりません、ごめんなさい。・一年に一回位あるといいのではと思います。・現状でよい。 ・父母会や保護者同士の連携もありません。 ・不要と考えているので問題ない。	・父母会は不要とのご意見も多く、行っておりません。
	⑪ 子どもや保護者からの相談や申し入れ、苦情について、対応の体制が整備されているとともに、子どもや保護者に周知・説明され、相談や申し入れをした際に迅速かつ適切に対応されているか	24	3	0	6	・何かあった時、迅速に対応して頂き、とても感謝しております。	
	⑫ 子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされているか	29	2	0	2		
	⑬ 定期的に会報やホームページ等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されているか	26	6	0	1	・見ていないのでわかりません、すみません。・SNSでの更新が早く様子がよくわかります。	・ホームページにて事業所評価を公表しています。またブログ等で活動の様子をご覧いただけます。行事予定はまたよりにてお知らせしています。
⑭ 個人情報の取り扱いに十分注意されているか	29	1	0	3		個人情報に関しては職員間でのみ共有し取り扱いには十分気をつけています。	
非常時 等の 対応	⑮ 緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、保護者に周知・説明されているか、また、発生を想定した訓練が実施されているか	24	4	1	4	・個人的な対応はされていると思います。	
	⑯ 非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出、その他必要な訓練が行われているか	23	2	0	8	・参加したかわからないですが、あったと思います。	・毎年、地震、水害を想定した避難訓練をおこなっています。
満足 度	⑰ 子どもは通所を楽しみにしているか	31	2	0	0	・とても楽しみにしています。カレンダーチェックしています。・本人がしゃべれないので?	
	⑱ 事業所の支援に満足しているか	30	3	0	0	・本人が満足していることが親としては大満足です。・専門性の高い職員が増えたらいいと思います。	

事業所における自己評価結果(公表)

公表: 令和 年 月 日

事業所名 児童デイサービスあさひ丸くら

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容または改善目標
環境・ 体制整備	①	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	4	4	1		
	②	職員の配置数は適切である	2	6	1		
	③	生活空間は、本人にわかりやすい構造化された環境になっているか。また障害の特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされている	4	1	4	・置き場所を整理したりわかりやすくしたりしています。また室内に絵カード等でルール等を明示しわかりやすくしています。	
業務改善	④	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画している。	3	6			
	⑤	保護者等向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	5	4			
	⑥	事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の開放やホームページ等で公開している	7	2		・毎年、評価をいただき、ホームページにて公表しております。	
	⑦	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている	4	2	3		・第三者に評価してもらってはおりません。
	⑧	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	8	1		・できるだけ社内、社外の研修に参加するようにしています。	
	⑨	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成している	9				
適切な 支援の 提供	⑩	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用している	4	4	1		
	⑪	活動プログラムの立案をチームで行っている	5	4			
	⑫	活動プログラムが固定化されないよう工夫されている	6	2	1		・今年度から活動内容を増やし、活動に幅を持たせました。
	⑬	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる個別支援計画を作成している	8		1		
	⑭	支援開始前には、職員間で必ず打ち合わせをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	5	4		・毎日、朝礼を行い、その日の予定を確認しています。	
	⑮	支援終了後には、職員間で必ず打ち合わせをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	8	1		・毎日、夕礼を行い、その日あった出来事や、困りごとを確認しています。	
	⑯	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	7	2			
	⑰	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断している	9				
関係機関や	⑱	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしいものが参画している	9				
	⑲	母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や学校、関係機関と連携した支援を行っている	7	2			・あまり連携は取れていないので、今後の課題と思われます。
	⑳	就学前に利用していた保育所、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか	5	3	1		
	㉑	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供しているか	7	2			・現状、必要に応じた形となっています。

保護者との連携	⑳	児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	6	2	1		・あまり連携は取れていないので、今後の課題と思われる。
	㉑	放課後児童クラブや児童館との交流、障害のない子どもと活動する機会があるか	5	2	2	・野外活動の日に、児童センターへ出かけたり公園に行ったりしています。	
	㉒	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加している	5	3	1		
	㉓	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	8	1			
	㉔	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)の支援を行っている	6		3		
保護者への説明責任等	㉕	運営規定、利用者負担等の説明や、支援内容と、これに基づき作成された「個別支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から個別支援計画の同意を得ている	8	1			
	㉖	定期的に、保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	7	2			
	㉗	父母の会の活動をしたり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している	5		4	・年に1度保護者様もご参加いただける、イベントを行っております。	
	㉘	子どもや保護者からの相談や申し入れ、苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申し入れがあった場合に迅速かつ適切に対応している	8	1			・苦情があった時に、どう対応するかの話し合いを行っています。
	㉙	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の除法を子どもや保護者に発信している	9				・おたよりにて活動の予定や、諸連絡をお知らせしております。
	㉚	個人情報の取り扱いに十分注意している	7	2		・個人の情報に関しては施錠できるロッカーにて保管しております。	
	㉛	障がいのある子どもや保護者との意思疎通や情報伝達のための配慮をしている	8	1			
	㉜	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている	8	1		・地域の方も参加できるイベントを年1回企画し、行っております。	
非常時等の対応	㉝	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練が実施している	9				
	㉞	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出、その他必要な訓練が行っている	9				・地震、水害に対する避難訓練の回数を増やし、利用している児童のほぼ全員に参加してもらいました。
	㉟	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認している	8	1			
	㊱	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	8		1		
	㊲	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	6	2	1		
	㊳	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	7	2		・社内に虐待防止委員会を設置し、会社全体で意識を高め、監視出来るようにしています。	
	㊴	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載している	6	1	2		・身体拘束を行う事案が未だないため、今後必要になった場合を考えての検討が必要。

事業所自己評価のまとめ

事業所名 児童デイサービスあさひ丸さくら

職員による自己評価と保護者に評価の共通点

- ・父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により保護者同士の連携が支援されているか
- ・活動プログラムが固定化されないよう工夫されているか
- ・定期的に会報やホームページ等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されているか
- ・非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出、その他必要な訓練が行われているか

相違点

- ・放課後児童クラブや児童館等との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか

改善点と改善への取り組みを話し合った結果

- ・父母の会や保護者会については、そこまで必要としてないと考えているため、今のところ行う予定はありません。
- ・活動に関しては今年度からバリエーションを増やし、多くの児童に楽しんでもらえるようにしました。今後も楽しんでご利用いただくために、様々な活動を行っていくことで一致しました。
- ・ホームページやブログ、インスタグラムに関しては楽しみにしている保護者の方が多くいることから、なるべくたくさん更新し、日々の活動をご覧いただけるようにしていきます。
- ・障害のない子どもとの交流はあまり必要とされてないことから、大きな企画は行わないが、近くの公園に行ったり児童センターに遊びに行くくらいは今後も行っていく予定。